

かい ぎ ろく
会 議 録

かいぎ めいしょう 会議の名称	へいせい ねんど だい かいこまきしたぶんかきょうせいきょうぎかい 平成24年度 第1回小牧市多文化共生協議会について				
かいさいにちじ 開催日時	へいせい ねん がつ にち か 平成24年 7月 10日 (火)				
かいさいばしょ 開催場所	だい かいぎしつ 第7会議室				
しゅつせきしゃ およ 出席者 及 けつせきしゃ び欠席者	○ 出席者 【委員】 こじま い いん ふじかど い いん さいれんじ い いん みやた い いん つばや い いん 小島委員、藤門委員、西連寺委員、宮田委員、坪谷委員、 ひが い いん おおしま い いん さとう い いん ちん い いん たから い いん 比嘉委員、大島委員、佐藤委員、陳委員、高良委員、 ごとう い いん すずき い いん こまき けい さつ しょ たかはし い いん こまき し こく さい 後藤委員、鈴木委員(小牧警察署)、高橋委員(小牧市国際 交流協会)、櫻井委員(市民産業部次長) 【事務局】 はやし せい かつ こうりゅう か ちょう むら た せい かつ こうりゅう か ちょう ほ さ がん どう し ゆ さ 林生活交流課長、村田生活交流課長補佐、丸藤主査 ○ 欠席者 さば な え い いん 佐羽内委員				
ぼうちょう か ひ 傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否	ぼうちょうてい いん 傍聴定員	10	ぼうちょうにんずう 傍聴人数	0
かいぎしだい 会議次第	1 かいかい 開会 2 あいさつ あいさつ 3 ない よう 内容 (1) こまきしたぶんかきょうせいすいしんぶらん 小牧市多文化共生推進プランについて (2) へいせい ねんどたぶんかきょうせいきょうぎかい 平成24年度多文化共生協議会について 4 その他				
といあわ さき 問合せ先	こまき し やく し ょ し み ん さ ん ぎ ょ う ぶ せい かつ こうりゅう か こうりゅう が かり 小牧市役所 市民産業部 生活交流課 交流係 たんどう がんどう 担当：丸藤				
かいぎないよう 会議内容	べっし さんしょう 別紙1参照				

ぜんぶ きろく ようてん きろく
 全部記録 要点記録

かい 会	ぎ 議	ない 内	よう 容
<p>1. ^{かいがい}開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ^{しみんけんしょうしょうわ}市民憲章唱和 <p>2. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ^{せいかつこうりゅうかちょう}生活交流課長よりあいさつ ・ ^{いいんいしよく}委員委嘱 <p>3. ^{ないよう}内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ^{いいんちょう ふくいんちょう せんにな}委員長、副委員長の選任 → ^{いいん すいせん こじまいいん いいんちょう せんにな}委員の推薦により、小島委員を委員長に選任。 → ^{いいんちょう すいせん おおしまいいん ふくいんちょう せんにな}委員長の推薦により、大島委員を副委員長に選任。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ^{かいぎ こうかい}会議の公開について → ^{こうかい かいぎ りょうしょう}公開の会議として了承。 			
<p>(1) ^{こまきしたぶんかきょうせいすいしんぶらん}小牧市多文化共生推進プランについて</p> <p>(^{いいんちょう こんかいいいん}委員長)今回委員になって、^{たぶんかきょうせい}多文化共生についてはじめて^{かんが かつ}考える方もいると思う。^{こまきしたぶんかきょうせいすいしんぶらん}小牧市多文化共生推進プランにとって、^{しみん ていぎ}こまき市民をどう定義するか、^{い ち}位置づけるかは、^{じゅうよう}とても重要なことであるため、^{いちどみな}一度皆さんで^{じゆう はな あ}自由に話し合ってもらいたい。</p>			
<p>～^{ぐるーぶわーく}グループワーク テーマ：^{しみん}こまき市民とは～</p> <p>→ ^{ぐるーぶ}4グループに分かれて^{じゆう いけんこうかん}自由に意見交換。</p>			
<p>(^{いいんちょう じむきよく}委員長)事務局より、^{こまきしたぶんかきょうせいすいしんぶらん}小牧市多文化共生推進プランについて、^{せつめい ねが}説明をお願いしたい。</p>			
<p>(^{じむきよく}事務局)こまき市民をどう^{ていぎ}定義するかは、^{ぶらん}プランにとって^{ひじょう だいじ}非常に大事なことである。^{こまきしたぶんかきょうせいすいしんぶらん}小牧市多文化共生推進プランにおけるこまき市民とは、^{じゅうみんひょう う む こくせき}住民票の有無や国籍などではなく、^{こまきしないく ひと はたら ひと}小牧市内で暮らす人や働く人など、^{にちじょうせいかつ}日常生活のなかで^{こまきし}小牧市にかかわるすべての人と^{ひと いち}位置づけた。小牧市にかかわる人すべてが、^{ひと たす えがおく}助けあって笑顔で暮らせるまちを^{めざ}目指して、この</p>			

プランは作成されている。はじめに、基本目標をめざすことと位置づけて5つ設定している。防災、自治会、ごみ、子どもの多文化共生、お互いのちがいを学ぶことの5つである。それぞれに、課題の解決にむけた取り組みが挑戦することとして書かれている。挑戦することを実行するのは、市役所だけでなく自治会や企業、日本人市民や外国人市民など皆さんが実行する人として位置づけられている。また、挑戦することは、達成することが第1の目的ではなく、それぞれの取り組みを通して、日本人市民と外国人市民が仲良くなるきっかけになってくれたらいいと考えている。つまり、挑戦することは、お互いが仲良くなるためのツールと考えている。結果として、問題が解決できればなおいい。そのような思いを込めて、プランは作成されており、平成23年度から5年間で取り組むこととしている。

(委員長)何か質問や意見はありますか。

→特になし。

(2)平成24年度多文化共生協議会について

(委員長)プランの趣旨は、先ほど事務局から説明があったので、皆さん概ね理解していただいたと思う。今後、小牧市の多文化共生を進めていくために、皆さんからいろいろな意見やアイデアなどをお聞きしたいと考えている。

今回は、第1回目の会議なので皆さんに多文化共生協議会の委員として取り組みたいことを聞いてみたい。

→各委員から

- ・小牧市の良い点を外国人市民に理解してもらいたい。
- ・日本人市民と外国人市民のコミュニケーションの架け橋になりたい。
- ・外国人市民に多文化共生協議会をはじめ、さまざまな取り組みを知ってもらいたい。
- ・日本人ともしっかり交流をしたい。など

4. その他

- ・次回は、9月を予定している。決まり次第通知させていただきます。